

# MINIMINIMINESS

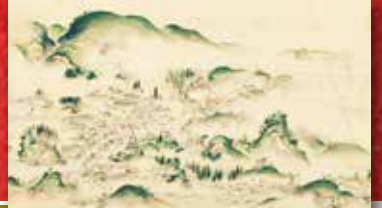
平成29年度院内銀山異人館・秋田大学連携展

**惣山奉行**

## 梅津政景が興した秋田の鉱山と町

開催期間 | 平成29年7月14日(金)～平成29年8月27日(日)

展示会場 | 湯沢市院内銀山異人館



秋田大学 院内銀山異人館 秋田大学連携展  
**梅津政景が興した秋田の鉱山と町**  
 平成29年度院内銀山異人館 秋田大学連携展  
 7月14日(金)～8月27日(日)  
 湯沢市院内銀山異人館  
 湯沢市上院内字小沢115 TEL.0183-52-5143  
 7月14日 13:30～14:30  
 特別講演「院内銀山の始まりと隆盛」  
 講師 今井忠男 (秋田大学名誉教授) 場所 院内銀山異人館  
 7月14日 13:30～14:30  
 開館時間 9:00～16:30  
 休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)  
 入館料 大人320円、中学生以下210円  
 (湯沢市立上院内字小沢115番地)  
 (主催講演: サンプルトーク入場無料)  
 主催 湯沢市院内銀山異人館、秋田大学国際資源学研究所、秋田大学学術文化推進センター、秋田大学学術文化推進センター、秋田大学学術文化推進センター  
 協賛 湯沢市、秋田大学学術文化推進センター  
 サンプルトーク  
 7月14日 14:30～15:00  
 講師 今井忠男 (秋田大学名誉教授)

平成29年7月14日(金)から湯沢市院内銀山異人館で、「平成29年度院内銀山異人館・秋田大学連携展 惣山奉行 梅津政景が興した秋田の鉱山と町」が開催されています。この連携展は、5月7日(日)まで当館で行われていた特別展を巡回展示として、院内銀山異人館で行うものです。初日の7月14日(金)、オープニングイベントとして、監修者である今井 忠男 鉱業博物館長による基調講演「院内銀山の始まりと隆盛」が行われました。その後展示会場で、ギャラリートークが行われました。

連携展のポスター

梅津政景は惣山奉行として、生涯、院内銀山の開発に関わりました。院内銀山に3つの大鉱脈を発見させ、それぞれに水貫坑道を開発しました。今回の連携展では、新たに3枚の「院内銀山鋪岡(しきおか)略絵図」の原本を展示しています。これらの絵図は院内銀山の坑内絵図で、大切坑(水貫坑)につながる地下の各採掘現場と水の汲み揚げの様子が描かれています。ギャラリートークで今井館長は、略絵図について説明し、採掘現場で汲み揚げられた水が大切坑へ流されていく様子が分かる貴重な資料である、と述べました。

講演会とギャラリートークには60名近くの方が訪れました。会場に入り切らなくなってしまったため、2グループに分けてギャラリートークを行いました。多くの方にお越しいただきありがとうございました。

### 院内銀山異人館

開館時間: 9:00～16:30

休館日: 毎週月曜日

(月曜日が祝日の場合は火曜日)

入館料: 大人320円 中学生以下210円

住所: 湯沢市上院内字小沢115番地

電話番号: 0183-52-5143

講演会 & ギャラリートーク



### 鉱業博物館ガイド養成プログラム

### 秋田大学新人サイエンスボランティア研修プログラム及び

### 【A】サイエンスボランティア基礎講座 が行われました

平成29年7月3日(月)秋田大学鉱業博物館新人サイエンスボランティア研修プログラム、【A】サイエンスボランティア基礎講座の「ガイダンス」と「博物館学」が開講されました。

これは、サイエンスボランティア養成を目的としている従来の講習会の発展・体系化を目指し、「新人サイエンスボランティア研修プログラム」として本年度から実施している事業です。今回開催された研修「【A】サイエンスボランティア基礎講座」は、SVに登録している方全員に受講していただくものです。

始めに今井 忠男 鉱業博物館長から、このプログラムの趣旨は、鉱業博物館の沿革、秋田大学における役割、活動内容について知っていただくこと、また、ボランティア活動について理解をすることである、という話がありました。次に、プログラムの進め方について、博物館ボランティアとしての基礎を身につける「新人サイエンスボランティア研修」と、さらに、ガイドとして活動を希望する方へ向けた「ガイド養成講座プログラム」から構成される、と説明がありました。

西川 治 鉱業博物館講師からは、大学博物館の役割と鉱業博物館の活動についての話がありました。博物館の役割は、展示だけでなく、資料・標本を収集し研究すること、それらを適切に保存・公開し、後世に伝えることである、と説明しました。また、博物館の使命を一言で言いあらわすとすれば、実物の価値を伝えることである、と述べました。

参加したSVの皆さんは、配布された資料を見ながら、真剣に受講していました。



研修会の様子

## 平成29年度第1回鉱業博物館開放講座

# えっ！この体重本当？ —基準となる重力値の変更に伴う影響—

平成29年6月28日（水）、平成29年度第1回鉱業博物館開放講座が開催されました。今回は、西谷 忠師秋田大学名誉教授が講師を務め、「えっ！この体重本当？—基準となる重力値の変更に伴う影響—」と題して講演を行いました。

平成29年3月15日、国土地理院は、国内の重力値の基準を40年ぶりに改訂しました。講演では、重力とは何なのか、重力値はどれ位変更され、どのような影響があるのか、などについて解説されました。

重力値が何に利用されているのかについては、「はかり」の校正のほか、マグマ溜まり・活断層の調査などにも使われている、と説明がありました。

※Gal(ガル) は、重力の大きさを表す単位  
1mGal(ミリガル) は0.001Gal

地上の標準的な重力値は、約980Galです。



西谷 忠師 先生



講演中の様子

改訂によって重力値がどれくらい変化したかについて、1975年に決められた重力値の基準JGSN75（日本重力基準網1975）とJGSN2016を比較しながら説明されました。秋田県で唯一の一等重力点は鉱業博物館内にあります。JGSN75では980175.80mGal(ミリガル)\*でしたが、JGSN2016では980175.73mGalと改訂されました。今回の改訂では、60kgの体重の人がいたとすると最大でヤブ蚊2匹分軽くなる位の違いがあったそうです。

また、地図に記されている標高は、重力の影響も考慮して決定されるので、富士山の標高も改訂されている、と話されました。

質疑応答の時間では多くの質問が出され、身近な事柄と重力をうまく結びつけた話題に皆さんの興味が湧いたようでした。

## 今井 鉱業博物館長が 「秋田をまなぶ講座」で講演を行いました



平成29年6月17日（土）、北秋田市民ふれあいプラザコムコムで、放送大学秋田学習センター主催の「秋田をまなぶ講座シリーズⅩ」の講演会があり、今井 忠男 鉱業博物館長が「秋田を支えた阿仁鉱山」と題して講演を行いました。

講演では、なぜ明治天皇が秋田を巡幸されたのかについて、明治政府が鉱山開発を重要視していたため、秋田県内の鉱山を視察することが目的だったことが紹介されました。さらに、北秋田市阿仁地方にはいくつもの鉱山があって、それぞれ鉱山町を形成していたことを、地図を示しながら解説しました。また、阿仁鉱山の歴史について説明がありました。

講演会には約50名と大変多くの方が参加し、興味深く聴講していました。

## 秋田県ジオパーク連絡協議会主催

まるごと体験！  
**あきたのジオパークで**  
貸し出し展示を行います

入場無料

開催日時：平成29年8月18日（金）  
10：00～16：00

展示会場：能代市文化会館中ホール

鉱業博物館では、秋田県ジオパーク連絡協議会が主催するイベント、「まるごと体験！あきたのジオパーク」で貸し出し展示を行います。展示するのは、秋田県の石に選ばれた、硬質泥岩、ナウマンヤマモモの化石、黒鉱の他数点です。

このイベントでは、他にも、岩石を割って植物の化石を探すコーナーやストーンアートを作るコーナーなどがあり、親子で楽しめる内容となっています。夏休み期間中の開催です。ぜひ、足を運んでみてください。

お知らせ

臨時休館します  
9月2日（土）  
終日休館させていただきます。

8月は毎日開館  
しております  
ご来館をお待ち  
しております！

博物館前の  
ラベンダー  
みさとせっか  
美郷雪華  
(6月30日撮影)

